

橈骨遠位端骨折の治療を受けられる患者さまへ

病名:(右 左) 橈骨遠位端骨折 手術:骨接合術

月/日	/	/	/	/	/	/	/ ~ /	/	/	/	/	/	/	/
経過	入院日 (手術前々日)	手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3~6日目	7日目	8~9日目	10日目	11日目	12~13日目	14日目	
達成目標	入院生活・手術について理解出来る		①痛みのコントロールが出来る。③創部に問題がない(出血・皮下出血等)、手術の合併症がない(しびれ等) ③安静度を守り転倒なく過ごせる。											
治療	シーネ固定がある際は、看護師で医師の指示のもと、適宜まき直します。										医師の回診で傷の抜糸を行います。		抜糸の翌日、傷の状態によければ傷の貼付剤は除去します。必要時、テープを貼付することがあります。	
処置	傷やその周囲へ血液排出する管(ドレーン)を留置する事があります。				回診で傷を消毒し、ドレーンを抜きます									
薬剤	これまで服用していた薬の内容が一部変更になることがあります		状態に応じ術前々日~当日朝にかけ下剤、浣腸を行います		<ul style="list-style-type: none"> ●手術前より点滴を開始します。 ●点滴は手術翌日まで持続して施行します。 ●術後と術翌日、術後2日目まで1日2回の抗生剤の点滴があります。 ●術後1日目より痛み止めの薬を飲みます。 									
リハビリ					医師の許可が出たら状態に応じてリハビリを開始します									
検査					手術室でレントゲン撮影 手術後採血があります。		採血をします 		 検査 採血、レントゲン撮影		 検査 採血、レントゲン撮影			
活動	 制限はありません		基本ベッド上安静です ふらつきがなければトイレ可		基本制限はありませんが、術後三角巾を使用することがあります。									
食事	食事・水分摂取が可能です。		21時以降は絶飲食です。		終日絶食です。 		腸の動き、排ガスを確認後、飲食が始まります。							
清潔	清拭用タオルをお渡しします		清拭後、術衣へ着替えます		清拭・更衣をしていきます				初回包交後、傷の状態に応じて清拭・シャワー浴を開始します。 					
説明	主治医より手術の説明があります 指輪、義歯、眼鏡等は手術の際外す必要があるため確認します		手術に必要な物品を準備します 麻酔科医と手術室看護師より説明があります		手術中は御親族の方に家族待合室で待機して頂きます 御親族の付き添いが難しい場合は看護師まで連絡をお願いします				 <p>スキントンテープの購入をお願いします。 売店：¥347</p>				看護師より退院後の生活について説明いたします 	
その他			手術後に主治医より説明があります		術後、心電図、酸素マスク、尿の管の挿入をすることがあります。				ドレーン抜去後に中止していた薬を再開します。					

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので、症状により変わります。

2021年1月1日 クリニカルパス委員会承認